

経営比較分析表（令和4年度決算）

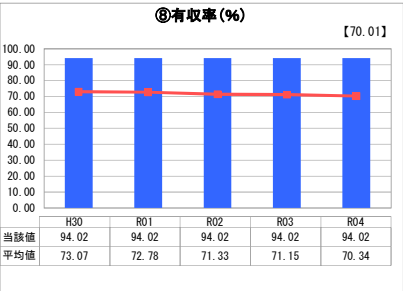
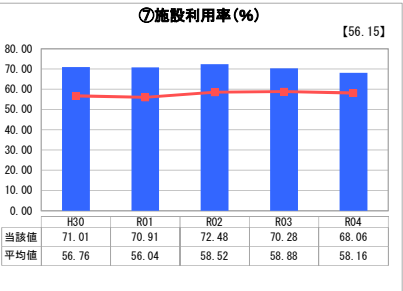
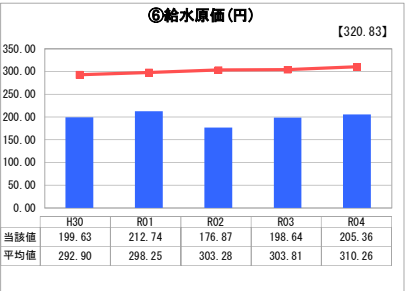
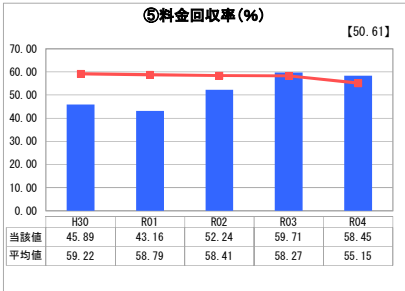
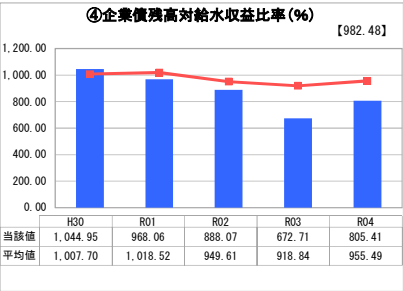
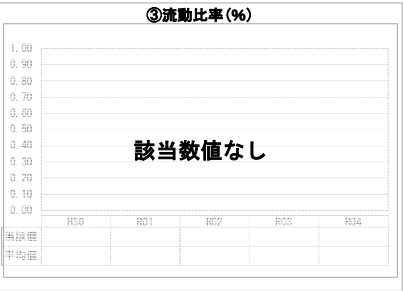
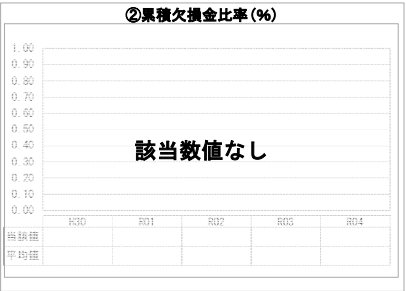
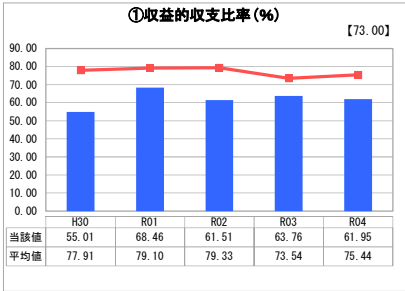
高知県 仁淀川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	43.46	2,080	

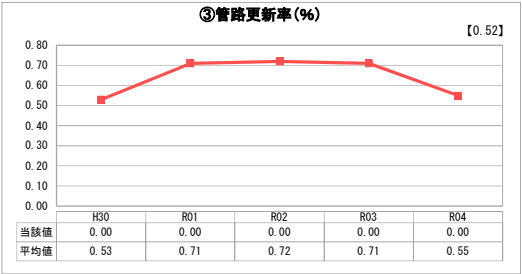
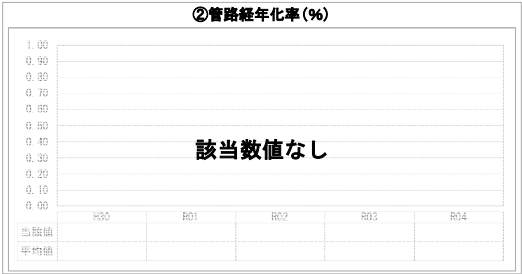
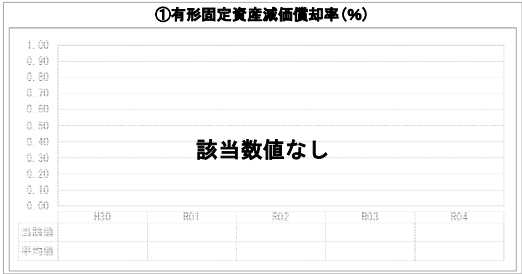
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,795	333.00	14.40
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,064	97.30	21.21

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【健全性】
収益的収支比較、料金回収率から給水収益だけでは賅えておらず、一般会計繰入金により維持している状態である。単年度の収支が赤字であることから、適正な水道料金の見直しを行い経営改善に向けた取り組みに着手する。

【効率性】
施設の耐震化、維持管理等の投資費用、また将来の給水人口の減少等、多面的な分析が必要であり検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を経過している施設や管路について、順次更新を進めている。中長期的な更新計画のもとに、耐用年数を超えた施設や管路の耐震化を今後とも進める。

全体総括

人口減少に伴い給水収益の減少は続くことが見込まれ、老朽化施設等の計画的な更新及び耐震化を進めることで経営状況は厳しくなることが想定される。今後においては、経営収支の見直しを踏まえ、水道料金の更なる見直しや投資規模の適正化に努め、経営改善を図っていく。